

宮崎教育長と語り合う会記録

2024年10月31日(木)13:30~15:00

浜松市教育会館 中会議室

1 最近話題となっていることの浜松市の現状と対応策、今後の見通し(教育長講話)

① いじめ・不登校

令和5年度のいじめの件数は、小7044、中1628 合計8672件で、令和4年から倍増している。増えていることが悪いわけではなく、積極的に認知を進めていこうとした表れであるにとらえている。ひやかしやからかいが多い。軽くぶつかるというものもあった。パソコン等で嫌なことを言われるというものもあった。大切なのは、教員と子どもの信頼関係である。そのことが未然防止につながると思う。

保護者の方にもいじめの定義を理解していただきたいと思っている。教育委員会でも今年度「すべての子供たちの笑顔のために ~いじめの理解と対応について~」というリーフレットを作成し配布した。R5年度より浜松いじめアンケートを年2回実施している。タブレット入力し、早期対応が必要な事例については、教育委員会だけでなく、アラームで担任、校長、教育委員会に伝わるようにしている。早期対応が大切であると考えている。対応の手引も作成した。教育委員会の指導主事が全校に訪問して指導助言を行っている。

不登校については、令和4年度小803、中1407で増加している。特徴として若年齢化と長期化である。要因は、①無気力・不安 ②友人関係などである。市教委としても、まなびの教室の充実を図り、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを増員し、学びの保障に取り組んでいる。

② 部活動の状況

令和5年度に地域クラブ活動協議会を立ち上げ、決まった内容については、中学校へ伝え、さくら連絡網等で伝えている。ワーキンググループで論点整理をし、着実に進めてきた。令和8年度9月以降、平日の部活動は今まで通り。休日部活を地域に任せていくということである。学校運営協議会等で話し合い、ソフトランディングをしていただきたい。学校によってさまざまな実態があることで実態に合った形で移行してほしい。

市教委としては、ガイドラインの策定をし、持続可能な活動にしていきたいと考えている。子供たちの未来に向けて育んでいくことが大切である。

保護者の方には、情報収集をしていただきたいこと、お子さんとの対話をしてほしいこと、安全面への配慮をお願いしたいことなどがある。

③ キャリア教育について

キャリア教育推進教師を各校に設置し推進役をお願いしている。教員向けのキャリア通信を発行し、理解を進めている。文部科学省の表彰もいただいている。キャリア教育は、職業学習というとはではなく、子供たちに力をつけること、生きる力に結

び付くことと押さえている。令和7年度からの第4次教育総合計画においても中心的な位置付けとしている。

④ 中学校の制服について

アンケートを取ったところ、8割の学校が従来のものであった。制服で生活をしているという学校は1校であった。各校において制服の見直しが進んでいるということが分かった。今後としては、学校に来ていく服をどうするのか、今の時代、制服をどうとらえるか、なぜ学校に着ていくのか等の判断材料を提供する方向で検討する。浜松市で統一した制服を作ることはしない。もし、制服を考えるとしても、一つの選択として提案したい。

⑤ コミュニティスクールについて

開かれた学校づくり、特色ある学校づくりとしてコミュニティスクールが機能するようにしたい。学校運営への保護者参画ととらえ、学びの支援や良好な関係づくりをするものとしてほしい。

2 意見交換

① いじめ・不登校

市P連：低学年の件数が多いと聞いた。

教育長：支援員をつけるといった対応をしている。

市P連：高校進学後にやめる子が多いがどうか。

教育長：課題としてとらえている。

市P連：不登校の地域における偏りとかはあるのか。

教育長：資料としては持ち合わせていないが、偏りはないと思う。

市P連：親への支援のPRはどうか。

教育長：24時間の相談受付。窓口を作っている。フリースクールと連携をとり、選択肢を増やしている。外とつながることのできないお子さんもつながることができるように、校外まなびの教室へつながるようにしたい。

② 部活動の状況

市P連：持続可能な形にするためにも、地域クラブ優先で体育館の使用を認めたらどうか。

教育長：話は出ている。まだ決まっていない。

市P連：地域クラブに横のつながりがない。

教育長：地域クラブ移行後の検討事項として取り上げたい。

市P連：地域移行に関して浜松市として保護者へのお願いはあるか。

教育長：費用負担が増えることが予想される。課題が出てくることに対して理解をお願いしたい。

市P連：小学校5年生の保護者だが、小学校にもこのことを伝えてほしい。例えば、天竜地区においては、剣道をやりたい場合に光が丘中しかない。

教育長：中学校と小学校6年生には情報を提供しているが、早めに情報を伝えるように検討する。

③ キャリア教育について

市P連：保護者にもっと知ってもらったらどうか。

教育長：学校で行っている内容を知っていただくよう努める。

④ 制服

市P連：今後、制服がどうなっていくのか。

教育長：制服の見直しについて、市内で制服を統一していくのは難しい。地域や学校の思いを大切に検討したい。

⑤ コミュニティスクール

市P連：コミュニティスクールをボランティアととらえている方が多いのではないかと。

教育長：研修会を行ったり、便りを出したりしている。

市P連：コミュニティスクールができたから、PTAはいらないという意見も出てきている。市教委としてどのように考えているか。

教育長：学校運営協議会は協議の場である。PTAは、それを動かす主体であると考えている。

市P連：コーディネーターをしているが、学校によっては、コーディネーターの働きで、実働部隊が活性化しているところがある。そういったところは、PTA不要論が出てきてしまうのではないかと。

2 浜松市P連への要望・意見等

保護者の皆さんとは連携を取りながら今後も進めていきたい。